

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：教育費 項：教育総務費 目：教育指導費

事業名 清流の国ぎふ教師養成塾実施事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 教育研修課 研修企画係 電話番号：058-271-3450 (内 28)

E-mail: c17781@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 387 千円 (前年度予算額：287 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	287	0	0	0	0	0	0	0	287
要求額	387	0	0	0	0	0	0	0	387
決定額	387	0	0	0	0	0	0	0	387

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・教職員の大量退職、大量採用により、経験の少ない教職員の採用が増加。こうした状況に対応するため、優秀な人材を確保する必要がある。
- ・採用後、学級担任等、すぐに実践する力が必要とされる。
したがって、採用前に岐阜県の教員としての基礎(学級経営、教科指導等)を学ぶ機会を設定し、計画的に育成するしくみが必要である。

(2) 事業内容

- ・岐阜県の公立学校教員を目指す大学3年生以上、常勤講師、非常勤講師に、講義・演習を通して、教員としての心構えや授業づくりの基礎、学級経営等の基礎を学ばせることで、岐阜県に優秀な教員を確保する。

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・岐阜県の公立学校教員採用前の研修のため、県負担 10/10

(4) 類似事業の有無

- ・ 無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	31	外部講師謝金
旅費	256	外部講師旅費、内部講師旅費、業務旅費
印刷製本費	100	ポスター、チラシ
合計	387	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・ 第3次岐阜県教育ビジョン
基本方針4「勤務環境の改革と教職員の資質向上」
(24) 優れた教職員の確保と資質・能力の向上

(2) 事業主体及びその妥当性

- ・ 将来の岐阜県教育を担う若手教員の資質向上を図るために、また、若手教員が即戦力として信頼される教育活動を展開するために、採用前の指導力強化は重要な課題であり、第3次岐阜県教育ビジョンの基本方針とも合致するため、県費負担は適当である。

(3) 国・他県の状況

- ・ 同様な教師塾等の開催状況
北海道、茨城県、埼玉県、東京都、神奈川県、石川県、滋賀県、京都府、大阪府、奈良県、岡山県、広島県、山口県、さいたま市、川崎市、横浜市、相模原市、静岡市、豊田市、名古屋市、京都市、大阪市、堺市、豊中市、北九州市

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

岐阜県の公立学校教員を目指す大学3年生以上、常勤講師、非常勤講師に対して、採用前に岐阜県教員としての基礎を学ばせることで、採用後、即適切に実践を進めることができる優秀な教員を確保する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値	目標	達成率
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

教員を目指す学生等に対する研修のため、指標の設定は困難である。

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

新型コロナウイルス感染症により、センター会場・岐阜聖徳学園大学会場は中止。Webによる動画配信。申込者298名。視聴回数718回

※岐阜大学会場のみ、2月2回、3月1回実施予定。

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

実施した講義・演習に対し、ほとんどの受講者から「分かりやすい。教職に対する不安が小さくなった」などの感想が寄せられ、大変好評であった。またWebで開催したことで、繰り返し視聴する姿も見られた。こうした意識は優秀な教員として成長するための確かな基礎づくりとなり大変意義があった。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い 	
(評価) ○	教職員の大量採用により、経験の少ない新規採用者が増加している。また、採用後すぐに学級担任をもつなど、即戦力が求められている。したがって、採用後すぐに学級担任として適切に実践を進めるための基礎を採用前の研修を通して学ぶ必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	実施した講義・演習に対し、ほとんどの受講者から「分かりやすい。教職に対する不安が小さくなった」などの感想が寄せられ、大変好評であった。こうした意識は優秀な教員として成長するための確かな基礎づくりとなり大変意義があった。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある 	
(評価) ○	受講者が参加しやすい時期に設定したことは効果的であった。一日に複数の講義を行うなどして開催日数を減らし、受講者の負担を軽減した。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・当事業を周知するための広報等のあり方。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・岐阜県に優秀な教員を確保し続けることが、今後の岐阜県教育の充実につながる。 ・教員の大量採用を踏まえ、採用後、学級担任としてすぐに実践できる人材が今後ますます必要となってくる。 ・採用後、子どもたちや保護者から信頼される学級担任として実践を進めるためにも採用前研修は必要である。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせる理由や期待する効果 など	